

はじめに

冷え込みがさらに酷くなり、耐えきれない寒さです。しかし、晴れたときの雪景色はとても美しく、日々の景色を楽しみながら生活できています。2月分の報告を始めます。

Spring Semester

1月下旬から春学期が始まりました。私は2月の中旬に帰国するため、春学期から帰国までの間授業を取ることができませんでした。約3週間、時間を持て余してしまいましたが、留学のアドバイザーである Lyndsey さんが授業の参加を提案してくれました。彼女の受け持つ科目は Foundations of Public Policy です。公共の政策についての授業で、毎週火曜日と木曜日にあります。RIT の授業は ELC の授業とは大きく異なり、先生や学生の話すスピードがとても早く理解ができませんでした。また、授業ではディスカッションを頻繁に行います。私も、グループに参加させてもらっているのですが、何について話しているのか分からないことが多く、落ち込みました。しかし、自分の専門に関係する科目ではないのですが、RIT の授業に参加することができ良かったです。

おわりに

今月の報告で最後となります。約9ヶ月アメリカに住み、日本という場所から離れ、違う言語・文化を経験し、自分は変わったような気がします。アメリカの文化は日本とは大きく異なり、この異なる文化を経験できたのは自分にとってとても大きなものとなりました。大学では英語の勉強に励み、留学前に比べれば英語力は伸びているような気がします。もっと努力しなければならないというきっかけを作ってくれたような気がします。また、もっと行動を起こせば良かったという後悔もあります。しかしながら、この9ヶ月という短い期間で、今までの人生で一番実りのある経験ができたと思っています。この9ヶ月で多くの友達ができました。また多くの方々にお世話になりました。友達と離れることがとても寂しいですが、彼らとの絆・関係をこれからも大切にしていきたいです。

このような交換留学の機会を与えてくださった札幌野順国際交流室室長、大澤敏教務部長、指導教員である坂本康正教授、国際交流室の皆様方、そして両親に感謝したいと思います。ありがとうございました。

以上で留学報告を終了します。